

1. 製品及び会社情報

製品名 モノタロウ ブレーキ&パーツクリーナー2000
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
整理番号 M170417

2. 危険有害性の要約

・GHS分類

物理的／化学的危険性

人の健康に対する有害な影響

環境への影響

・GHSのラベル要素

絵表示／シンボル:



注意喚起語:

危険有害性情報:

- ・可燃性／引火性エアゾール区分1
- ・引火性液体 区分2
- ・急性毒性(経口) 分類できない
- ・急性毒性(経皮) 分類できない
- ・急性毒性(吸入:気体) 分類対象外
- ・急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない
- ・急性毒性(吸入:粉塵およびミスト) 分類できない
- ・皮膚腐食性・刺激性 分類できない
- ・眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2B
- ・呼吸器感作性 分類できない
- ・皮膚感作性 分類できない
- ・生殖細胞変異原性 区分1B
- ・発がん性 分類できない
- ・生殖毒性 区分1A
- ・特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分3(麻酔作用)
- ・特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分1(肝臓) 区分2(神経)
- ・吸引性呼吸器有害性 分類対象外
- ・水生環境急性有害性 分類できない
- ・水生環境慢性有害性 分類できない
- ・オゾン層への有害性 分類できない

・危険

・極めて可燃性／引火性の高いエアゾール。引火性の高い液体および蒸気。高圧容器;熱すると破裂のおそれ 眼刺激。眠気やめまいのおそれ。遺伝性疾患のおそれ。生殖能または胎児への悪影響のおそれ。長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害。長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ。

注意書き: 安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。裸火または他の着火源に噴霧しないこと。容器を密閉しておくこと。容器を接地しアースを取ること。防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する措置を講ずること。使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。取扱後は手をよく洗うこと。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置	<ul style="list-style-type: none"> ・気分が悪い時は医師等に連絡すること。気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。火災の場合:記載の消火剤を使用すること。
保管	<ul style="list-style-type: none"> ・施錠して保管すること。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。日光から遮断し、40℃以上の温度に暴露しないこと。
廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ・内容物および容器は記載方法にしたがって廃棄すること
3. 組成、成分情報 物質/混合物の区別 化学名/含有量:	<ul style="list-style-type: none"> ・混合物エアゾール製品 ・エタノール(Ethanol):15wt%(原液中重量比) ・DME(Dimethyl ether):100wt%(原ガス中重量比)
4. 応急措置	
吸入した場合:	<ul style="list-style-type: none"> ・新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師を呼ぶこと。
皮膚に付着した場合:	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚を速やかに洗浄すること。皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを求めること。
眼に入った場合:	<ul style="list-style-type: none"> ・水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合:	<ul style="list-style-type: none"> ・速やかに口をすすぎ、医師の診断を受けること。
5. 火災時の措置 消火剤:	<ul style="list-style-type: none"> ・粉末消火剤、散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具、緊急時措置:

- ・漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。風上に留まる。低地から離れる。密閉された場所に入る前に換気する。

環境に対する注意事項:
回収、中和:

- ・河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- ・少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。多量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。多量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることができないおそれがある。

7. 取扱い及び保管上の注意

・取扱い

技術的対策:
局所排気、全体換気:
注意事項:

- ・作業場の換気を十分に行い、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。

- ・周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。接触、吸入又は飲み込んでではない。眼に入れてはならない。ミストを吸入しないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避等の取扱上の注意:

- ・「10. 安定性及び反応性」を参照。

・保管

技術的対策:

- ・保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためますを設けること。保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

保管条件:

- ・熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。酸化剤から離して保管する。容器は直射日光や火気を避けること。容器を密閉して保管すること。

混触禁止物質:

- ・「10. 安定性及び反応性」を参照。

容器包装材料:

- ・消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(暴露限界値、
生物学的暴露指標):

(エタノールとして)

- ・TLV-TWA 1000ppm

・保護具

呼吸器の保護具:

- ・適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具:

- ・適切な手袋を着用すること。

眼の保護具:

- ・適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具:

- ・衣類、顔面用の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質	(エアゾール原液の情報)
物理的状態, 形状, 色など:	・エアゾール
臭い:	・特有な臭い
pH:	・データなし
融点, 凝固点:	・データなし
沸点, 初留点, 沸騰範囲:	・60°C
引火点:	・-20°C
爆発範囲:	・データなし
蒸気圧:	・データなし
蒸気密度(空気=1):	・データなし
比重(密度):	・0.67
溶解度:	・水に不溶
オクタノール-水分配係数:	・データなし
自然発火温度:	・データなし
分解温度:	・データなし
10. 安定性及び反応性	(エタノールとして)
安定性:	・データなし
危険有害反応可能性:	・空气中で爆発性過酸化物を生成することがある。次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアと徐々に反応し、火災や爆発の危険をもたらす。硝酸、硝酸銀、硫酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤と激しく反応し、火災と爆発の危険をもたらす。ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤を侵す。
避けるべき条件:	・高温への暴露
混触危険物質:	・強酸化剤、次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニア。
危険有害な分解生成物:	・一酸化炭素
11. 有害性情報	
急性毒性:	・データなし
皮膚腐食性, 刺激性:	・データなし
眼に対する重篤な損傷, 刺激性:	危険有害性情報:H320 眼刺激
呼吸器感作性/皮膚感作性:	・データなし
生殖細胞変異原性:	危険有害性情報:H340 遺伝性疾患のおそれ
発がん性:	・データなし
生殖毒性:	危険有害性情報:H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
特定標的臓器毒性-単回暴露:	・データなし
特定標的臓器毒性-反復暴露:	・データなし
吸引性呼吸器有害性:	・データなし
12. 環境影響情報	
生態毒性:	・データなし
残留性, 分解性:	・データなし
生体蓄積性:	・データなし
土壤中の移動性:	・データなし
オゾン層への有害性:	・データなし
13. 廃棄上の注意:	
残余廃棄物:	・廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器, 包装:	・容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

・国際規制

国連番号:
国連品名:
国連分類:
国連項目:
国連等級:
海洋汚染物質:

・1950
・AEROSOLS (maximum 1 litre)
・高圧ガス
・引火性高圧ガス
・2.1
・Not applicable

15. 適用法令

・労働安全衛生法:
名称等を表示・通知すべき危険物及び有害物(法第57条、第57条の2、施行令別表第9)(政令番号 第61号)
危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)。
・消防法:第4類引火性液体、第1石油類非水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1)。
・船舶安全法:引火性液体類・可燃性のガス(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)。
・航空法:引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)。

16. その他の情報

・データなし